

今月のテーマは…

## 子どもを産み育てやすい 西尾市に

西尾市が子どもを産み育てやすいまちになるため、不妊に悩む夫婦を経済的に支援する不妊治療費の助成を拡充しました。また、増加が見込まれる保育の受け皿として「認定こども園化」を進め、妊娠・出産期から切れ目なく子育てを支援していきます。



### ●不妊治療費の助成拡充

—なぜ、特定不妊治療費の助成額を増額したのですか？

**市長** 不妊治療には時間と費用がかかります。中でも体外受精や顕微授精など、医療保険が適用されず医療費が高額な特定不妊治療は1回に20〜80万円必要なことがあります。「子どもが欲しい」と思いながらも妊娠できない夫婦の経済的な負担を少しでも軽減するために、**4月から助成額を増額**しました。

—どれくらい増額しましたか？

**市長** 特定不妊治療費における市の助成は、自己負担額から県の助成額を引いた金額が対象です。これまで**5万円だった上限額を治療によっては最大20万円に増額**しました。また、特定不妊治療に併せて男性不妊治療をした場合も同様に助成を受けられ、上限額を**5万円から15万円に引き上げ**しました。特定不妊治療と男性不妊治療の助成額は県内トップクラス、西三河の市町ではナンバーワンの金額です。不妊治療を行う際は、ぜひ利用してください。

### ●認定こども園化の推進

—認定こども園は、保育園や幼稚園と違うのですか？

**市長** 保育園は、保護者が仕事

や病気のため家庭で保育できない就学前の子どもを保育する施設です。幼稚園は、幼児期からの教育を行う施設で、それぞれ子どもを預ける目的が異なります。**認定こども園は、保育と教育を一体的に行う、保育園と幼稚園の両方の良さを併せ持つ施設**です。

### 認定こども園の種類と特徴

種類	特徴
幼保連携型	幼稚園と保育所の機能を併せ持つ単一の施設
幼稚園型	保育が必要な子どもの保育時間を確保するなど、保育所的機能も果たす幼稚園
保育所型	保育が不要な子どもを受け入れるなど、幼稚園的機能も果たす保育所
地方裁量型	認定こども園として必要な機能を果たす認可外の施設

—認定こども園のメリットは何ですか？

**市長** 認定こども園のメリットは、3歳児以上のお子さんなら、保護者の就労の有無に関係なく入園でき、保育と教育の両方を受けられることです。併せて地域における子育て支援として、相談や親子の集いの場などを提供します。また、幼保連携型認定こども園は、

**3歳未満児の受け入れの拡大ができ、待機児童の解消につなげられます。**



—市内に認定こども園ができる予定はありますか？

**市長** 現在、私立幼稚園である西尾中央幼稚園と、私立保育園である東部保育園を2年度から認定こども園に移行します。今後も私立保育園・幼稚園から認定こども園への移行希望があれば、地域の実情などを踏まえて検討していきます。公立保育園・幼稚園も、園舎の建て替え時に、認定こども園への移行を検討していきます。

事業の内容について、詳しくは次の問合先へ。

▼不妊治療費助成：健康課（☎57・06661）

▼認定こども園：保育課（☎65・2110）



## 夕闇に浮かぶ、かぎ形の炎 貝吹のかぎ万燈

約900年の歴史を持つ夏の夜の風物詩。昔、僧兵の戦いの霊を弔うために万灯をたいたのが始まりと伝えられています。貝吹町にある万灯山の西側斜面に108基の「スズミ」が並べられ、ほら貝の合図で点火されると、山頂に炎の「かぎ」が浮かび上がり、幻想的な雰囲気が醸し出されます。

**時** 8月14日(水) 午後8時30分点火

**場** 万灯山

**他** 開催の場合、午後6時ごろに山頂に火(親万灯)がともりますが、中止の場合はともりません。



夜空と川面を彩る光の祭典

## 第71回 西尾・米津の川まつり

QRコードから祭りの様子の動画が見られます



戦没者や水難者の霊を慰めるために始まったお盆の行事。矢作川に架かる米津橋の下流で読経が流れる中、川面には約1,500個の万灯が揺れ、夜空には約3,000発の花火が打ち上がります。幻想的な光の祭典に、ぜひお越しください。

**時** 8月15日(木) 午後4時30分～8時30分

※花火の打ち上げは午後7時30分～8時30分。荒天や河川増水などの場合は9月1日(日)に延期

**場** 矢作川米津橋下流

※名鉄米津駅から徒歩約5分。名鉄桜町前駅から徒歩約10分

**他** 矢作川左岸(南側)の一般席の場所取りは当日午前7時、右岸(北側)は正午からできます。それ以前に場所取りしたものは撤去します。



万灯は米津町内の商店などで、1基1,000円(当日は1基1,200円)で販売